

令和元年度 大規模園芸躍進フォーラム 開催要領

1 目的

メガ団地等の大規模園芸拠点の拡大などにより、収益性の高い園芸品目の販売額が着実に増加するなど、本県農業の複合型生産構造への転換が進展しているが、一方、経営の大規模化により、労働力の安定確保や生産・労務管理の効率化などの新たな課題が顕在化してきている。

このため、メガ団地等の生産者や関係機関が一堂に会し、県内外の先進事例等について情報交換を行い、大規模経営体の持続的な発展を目指す。

2 日時 令和2年2月6日(木) 13:30～16:20

3 場所 秋田キャッスルホテル 4階 放光の間
(秋田市中通1丁目3-5)

4 主催 秋田県

5 共催 株式会社 日本能率協会コンサルティング

6 内容

(1) 講演 (13:35～14:35)

「農業経営における農業ICTの効果的活用視点と事例」

講師：株式会社 日本能率協会コンサルティング
生産コンサルティング事業本部 副本部長
シニア・コンサルタント 今井 一義 氏

(2) 情報提供(14:45～15:30)

「新たな人材確保の方法について」

講師：Kamakura Industries株式会社
代表取締役社長 原 雄二 氏

(3) 県内事例発表(15:40～16:20)

- ①「大規模営農の課題と対応策 ～トヨタ式カイゼンの効果～」
農事組合法人 メガファーム
- ②「地域密着型農業法人の自己改革」
有限会社 折林ファーム

7 その他

(1) パネルセッション

- ①スマート園芸の導入事例
- ②トヨタカイゼンの研修レポート
- ③労働力確保への支援（農業労働力サポートセンターの概要）
- ④周年園芸の実証事例

(2) スマート農業関連機器展

パワーアシストスーツ、施設環境制御システム等の展示

※会場前ホワイエにて展示しておりますので、フォーラム開始前や休憩時間等の幕間にご覧ください。

8 参集範囲

大規模園芸経営体、市町村、農業公社、農業会議、金融機関
県立大学、農政局、JAグループ秋田(中央会、全農、JA)、県 等